

## 7 事例集

### 洗浄～乾燥・保管方法の例① ～Gキュレットやレジン充填形成器等の棒物製品～

使用頻度が高く、処置内容に応じてセットの必要がある製品の場合、管理も含めて下記のようなケースを用いる事をおすすめします。ケースから出し入れする必要なく、洗浄～乾燥・保管までおこなえるだけでなく、処置内容に応じたセットとして管理することが可能です。



「24009 洗浄滅菌カセット タイプB」

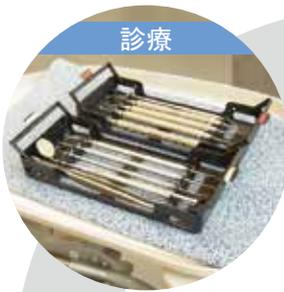


- コンパクトなサイズで庫内でかさばりません。
- WDでも使用できます。

#### システム管理

##### [診療]

基本セットや専用器具など処置別にセットしておくことで、準備において適切な器具選択がスムーズにできます。



##### 診療

##### 洗浄

##### [洗浄]

器具同士の接触によるキズや破損、鋭利な器具によるケガを防ぎます。ウォッシャーデイスインフェクター・浸漬洗浄・超音波洗浄に対応します。



診療→洗浄→滅菌→保管が  
入れ換え不要で効率up!

##### 保管

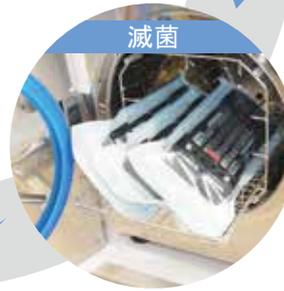
##### 滅菌

##### [保管]

滅菌終了後はそのまま保管し、診療時にチェアサイドへ。  
※紫外線殺菌不可

##### [滅菌]

器具をカセットにセットした状態で洗浄をしているので、滅菌前にセット組みをする手間が省けます。



#### カラーリングで識別・管理

収納するインスツルメントの用途などにあわせてカラーリングの色を変えると、識別が明確になり管理がしやすくなります。



## 洗浄～乾燥・保管方法の例② ～口腔内撮影ミラー～

### 1 洗浄 ≫ 2 すすぎ ≫ 3 乾燥 ≫ 4 オートクレーブ滅菌 ≫ 5 乾燥・保管

水洗・洗浄・滅菌に使用する水は精製水や濾過水をおすすめします。水道水に含まれる塩素、ミネラル等の不純物がシミの原因になります。

#### 1 洗浄

- 「ゼットワン eco ファインリキッド」等の医療用防錆洗浄液へ浸漬し、タンパク質等の汚れを確実に落とします。

⚠ 残存した汚れ → シミ

- 超音波洗浄は鏡面にキズが付く恐れがあるため、行わないで下さい。

⚠ 超音波洗浄 → キズ



医療用アルカリ性防錆洗浄液「13538 ゼットワンeco ファインリキッド」

#### 2 すすぎ

- 流水で洗浄液を洗い流します。

⚠ 残存した洗浄液 → シミ・サビ

#### 3 乾燥

- マイクロファイバークロス等の糸屑のでない柔らかい布で、こすらずに水分を取り除きます。

⚠ 残存した水分（水道水中の塩素・ミネラル等） → シミ

#### 4 オートクレーブ滅菌

- 他の器具と接触しないように、またオートクレーブ庫内の水分や滅菌バッグの接着成分が鏡面につかないように、付属の滅菌用保護袋に入れ、鏡面を下向きにして滅菌します。

⚠ 他の器具との接触 → キズ

⚠ 水分・滅菌バッグの接着成分等の付着 → シミ



#### 5 乾燥・保管

- 確実に乾燥させて保管します。

⚠ 残存した水分 → シミ・サビ・ヤケ

## 洗浄～乾燥・保管方法の例③ ～マイクロや外科等の繊細な製品～

汚れが十分に除去されたことを確認してから、オートクレーブ滅菌を行ってください。

マイクロや外科等の繊細な製品をオートクレーブ滅菌にかける場合は、繊細な部分を保護する為に滅菌ケースを用いる事をおすすめします。



「24021 滅菌ケース MS#1」



「24043 滅菌ケース フリー M グリーン」